

秋の大運動ニュース

2022.10

保育・学童保育・子育ての充実をもめる秋の大運動実行委員会

(連絡先) 大阪保育運動連絡会 TEL06-6763-4381

実行委員会の構成：大阪保育運動連絡会・大阪学童保育連絡協議会

大阪自治労連（保育部会/指導員労組連各会）・

全国福祉保育労働組合大阪地本・全国福祉施設経営者同友会

今年も秋の署名の季節がやってきました。コロナ禍で保育所や学校ではたくさんの制限の中、大変な日々を過ごしています。今こそ子どもたちにとって良い環境の中で「保育」「教育」が受けられるよう、国や大阪府に対して、子どもたち一人一人が大切にされる予算を考えてもらうように今年は保育所・学童保育・小学校の現状・高校の現状等、リレートークで学び、お互いの状況を知る機会を持つことができました。子どもたちを長い目で見守り一緒に頑張っていく事を感じられた学習会でした。

実行委員長 松林さんより

まずは子どもが置かれている状況をお話しながら、「第一に子どもの貧困」「第二に子どもの教育は家庭が基本」「第三にこどもコミッショナーが制度化されなかった」しかし一方で国が子ども関連予算の倍増を目指すとやっているの、子育て支援を前進させる大きなチャンスでもあります。保育所では配置基準が1.2歳児は50年以上、4、5歳児は70年以上一度も改善されていません。学童では指導員不足が極めて深刻。保育士も学童保育指導員も専門職です。子どもが豊かに育ちあえる事、自己肯定感を持って生きる力、子どもの権利保障が大切にされる保育や社会の実現です。子どもの権利条約が花開く保育と社会を作っていきましょう

大阪教員組合 大槻さん

コロナ禍で休校になり、授業数の確保が大変な為行事を減らし対応している。又、遊び時間も暑さで外遊びできず、コロナでボール遊びだめ校庭遊具も曜日を決めて使用している。

今年度「スクスクウオッチ」が導入され、テストは1日かかり、又テスト用紙も直前にカギを掛けて送られてくるので、教員は残業してテストの準備をしている。テストの結果は肯定的な内容で書いているが何を言っているかわからない内容でもある。

「ギガスクール」は子どもに1台パソコンを渡し、オンライン授業が進みハイブリットで配信され、2重の授業になっている。本来は教室で教員が見回りしながら授業を進めていくものである。子どもだけでなく、保護者や地域とのリアルなつながりが薄くなっている。

教員も研修が増え、人として健康的に働けるのか？教育、子どもに係る予算が少ないので、力を下合わせて一緒に頑張っていきたい。

大阪府高等学校教職員組合 岩佐さん

公立高校の統廃合については大阪府が3年連続で定員割れした学校は統廃合の対象になる。3年で13校統廃合され、新たに3校が対象になり、この4月対象学校の生徒にも説明があった。公立は安心して学ぶための学校ではなくなっている。私学の無償化は完全ではなく、先に支払い(70万~100万)後から配分式で返金される。2014年から学区制が撤廃され地域の中での入学予想の読みが出来なくなってしまっている。(人気校との差が出てしまう)学校が減らされることで、身近に通える学校がなくなる。少子化だからこそ今ある学校で、40~35人学級にすれば子どもたちの学ぶ権利が守られる。そのためにもあきらめずに闘います。

自治労連保育所支部 牧野屋さん

大阪では公立保育所の民営化・統廃合、そして認定こども園化がすすみ、公立保育所数は激減しています。各地域で反対運動も行ってきましたが、保育関係者の願いは届かず、各市町村の再編整備計画は進んでいます。大阪自治労連保育所支部は地域の中で公立保育施設果たす役割について研究会をもち、中間シンポジウムも行いました。公立保育施設は緊急時・災害時には民間保育園と連携して地域の子育て世帯を守るセーフティーネットの役割があることを知らせ共感の輪が広がる運動をしていきたいと思っています。



学童保育連絡協議会 高宮さん

新型コロナウイルス拡大に、学童保育は保育園同様、社会機能を維持するために必要な事業として原則開所要請されました。指導員の仕事は、平常時でも、子ども達の保育以外に、保護者支援、日々の事務作業、職員間での打ち合わせ、行事、研修、関係機関との連携、資料の作成等、多岐にわたります。府内の多くは非正規雇用で午後から勤務となっていて、この職務内容に処遇が見合わず、指導員の退職と成り手不足による欠員が相次いでいます。

大阪学童保育連絡協議会では、6月に「学童保育指導員のしごと」パンフを作成し、シンポジウム（7月）も開催しました。コロナを機に再認識された学童保育の社会的意義だけでなく、豊かな保育内容とそこで働く指導員の「専門性と処遇問題」について発信し、学童保育に「正規・常勤指導員の複数配置」の運動を広げていきたいです。

社会福祉施設同友会保 上田さん

福祉施設の人材不足為、人員確保の一つとして、4月に同友会全体でオンライン就職フェアを行いました。その経験を活かし、保育士のみで行ってみようと、同友会保育部会単独で、就職フェアを開催しました。初の試みで、参加者も少なく課題などはありませんでしたが、保育の仕事や各法人の理念等参加者にアピールすることが出来、これを機に採用に繋がり、やりがいをもって働き続けて欲しいなと思っています。保育の現状は人員確保はもちろん最低基準等の配置基準の問題、保育の継続が出来ることで子ども達が安全に健やかに成長していきます。先日のバス事故などはほんとに心が痛みます。長い間変えられていない配置基準等を皆さんと一緒に声上げて頑張っていきたいです。



今後の取り組み予定

- * 第一次集約 10月25日（火）
 - * 国会要請行動 11月2日（水）
 - * 保育大集会 11月3日（祝）東京 日比谷音楽堂
 - * 全国各地での宣伝行動 11月20日（日） 世界こどもの日
- * 各自治体キャラバンもあり始まります

秋の大運動を成功させるためにもカンパにご協力ください。

ゆうちょ銀行

店番・418

普通 7343116

お願いします

